

オプトアウト文書【2021年3月版】

## 当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210173
研究課題名	緊急腹部手術を要する高齢者の身体機能に関する調査
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 救急科 山口敬史
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2023年5月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。 なお、本研究に情報等が利用されることを希望されない申し出をした場合、不利益をこうむることはありません。
研究の目的と意義	腹部の緊急手術を要する高齢の方は増加傾向にありますが、緊急手術後に身体機能が低下してしまう方が一定数いらっしゃいます。本調査では、術前の全身状態から術後の身体機能低下を予測し得る項目を検討することで、手術を受けた後の生活の質の維持や、家族・社会の介護福祉に役立つことを目的としています。
研究の方法	この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、術前の身体機能や既往歴、術前の検査の値や画像情報、手術及びその後の治療内容と経過、術後退院時の身体機能、退院先、などについての記録を集計させていただきます。
対象者	2018年4月1日～2023年3月31日の間に、 救急外来を受診され、当院で腹部の緊急手術を受けられた65歳以上の方
利用する試料/情報	情報等：性別、年齢、身長、体重、入院期間、ICU入室の有無、診断名、 入院時血液検査、併存疾患、既往歴、内服薬、生活環境、口腔内歯牙本数、 入院時バイタルサイン、入院時画像データ、入院時及び術後28日目の日常生活動作、 手術関連項目（手術時間、術式、輸液量、輸血量、出血量、合併症、経口摂取開始時期）、 退院先、30日及び90日生存予後
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	救急科研究費
結果公表	国内国際学会で発表し、英文誌へ投稿予定
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 救急科 山口敬史